



さくら振興議連でSAKURAロードプロジェクト立ち上げ



さくら振興議連で平沢復興大臣を訪問



母校古川黎明高等学校 (SSH指定) で未来の医工連携について議論



新潟県看護連盟看護管理者研修にて講演

きの簡素化、母性健康管理の徹底、個人防護具の安定供給、学生実習の代替措置や新たな教育研修事業、専門人材の広域調整など、少しでも現場の努力に報いることができるよう政策づくりを進めています。

参議院インターネット審議中継
<https://www.webtv.sangin.go.jp/webtv/index.php>

1月27日の予算委員会質疑では、生活困窮する女性や社会的孤立者への支援と自殺防止対策の強化、訪問看護等による療養管理指導、長期療養の場への移行促進、感染力低下後の受け皿となる介護保険施設料の引き上げ、感染症有事における地方自治体の緊急支援ネットワーク構築、規制改革の先駆けとなる大規模ワクチン接種戦略の成功に向けて、大病院における感染症医療人材の育成と地域貢献への展望、感染症有事の看護人材確保と新たな社会貢献に向けた処遇改善、人生の最終段階を穏やかに過ごす支援の充実と在宅ケアへのICT活用促進、学生に優しい大学入試制度等改革と情報提供のあり方、豪雪被害の早期復旧、高病原性鳥インフルエンザ等への対応及び営農

支援などを問い、関係関係等から丁寧なご回答をいただき、その後の基本的対処方針等の見直しにも、迅速に意見が反映されました。

今後は文教委員会、東日本復興特別委員会、資源エネルギー調査会の審議においても、質問する機会が増えると思います。

離れていても、いつも応援しています

看護職に寄り添い、その活躍を常に見守り支援している看護連（自民党看護問題対策議員連盟）は、厳しい医療

現場で活躍する看護職のための政策立案に取り組みだけでなく、直接声を届けたい！と考えて、この度、激励の言葉を一言にまとめました。

多くの国会議員は外出や地元への遊説を極力控え、中央に留まって政策立案に没頭する毎日を送っています。物理的には離れていても、思いは一つ、いつも最前線を尊重し、何かしら皆様のお役に立ちたいと考えています。

これからも引き続き、皆様の率直な現場の声をお届けいただき、ともに力を合わせて、私たちの現場の課題解決に取り組んでまいります！



自民党医療系議員団で北里大学白金キャンパスを視察

2021年度の政策立案に向け、聞き取り

自民党ではCOVID-19パンデミックの社会的影響を踏まえた今後

東日本大震災から10年を経て、今夏の東京オリパラ大会に向け復興創生と復活の願いを込めた動きが加速しています。一人ひとりの個性が尊重され、特技や持ち味が大切に活かされて、生涯を通じて自分らしい社会参加ができるよう、様々なアイデアで協力を強めたいと考えています。

感染症流行の続く中、いこの最前線でご尽力くださる皆様に心から感謝を申し上げます。看護連盟の皆様との強い絆を励みに、希望を繋ぐ看護政策の充実に向けて全力で取り組んでまいります。

の政策立案につなげる趣旨から、将来に向けた国民生活の向上とその基盤強化に関するご意見を聞き取りさせていただきます。政調副会長として、私も幅広くご意見を伺いましたところ、ハガキ・メール・団体Web調査などを通して全国3836件の個人・団体から合計6051項目のお声を頂戴しました。誠にありがとうございます。親近感が湧いた、井戸端キャラバンをどんどんやって欲しいなど、温かい励ましの言葉もいただきました。

過酷な緊張が続く現場の看護職からの貴重な提案を真心込めて国政に活かすよう最善を尽くします。

政策ビジョンとして掲げる政策の柱としては、①人と人とのつながりを重視する政策群、②保健医療福祉人材の活躍を促進する政策群（女性のライフステージに応じた優しい働き方改革の推進）、③感染症有事対応に関する制

度整備、④生きがいの獲得につながるAI・デジタル技術の活用と社会保障サービス従事者の事務負担を劇的に軽減する政策群、⑤地域の可能性を追求し創生を図る政策群について、提案をさせていただきます。

第三次補正・令和三年度予算

三度にわたる令和2年度補正総額は事業費ベース300兆円を超え、実に国家予算3年分にも匹敵する規模に及びました。

これまで、医療職への労災認定手続



自民党政務調査会副会長
参議院議員

たかがい恵美子

皆様からお寄せいただいたご提案を政策に活かしてまいります



SARS-COV-2検査の拡充を西村経済再生大臣に要望